

事項	サイレージ用トウモロコシの奨励品種「パイオニア115日（系統名P1690）」の特性		
ねらい	本県に適するサイレージ用トウモロコシの品種を選定するため、流通品種の生育特性及び収量性を検討した結果、「パイオニア115日（系統名P1690）」が既存の奨励品種と比較して耐倒伏性、耐病性及び収量性に優れることが明らかとなったので、奨励品種として普及に移す。		
普及する内容	<p>1 来歴</p> <p>アメリカで育成されたデント種×デント種の単交配品種であり、平成26年からパイオニアハイブレッッドジャパン(株)が販売している。</p> <p>2 主な特性（標準品種「パイオニア115日（系統名34B39）」との対比）</p> <p>(1) 初期生育は同程度で良好である。</p> <p>(2) 生育日数は同程度の中生品種である。</p> <p>(3) 倒伏折損の発生は少なく、耐倒伏性は優れる。</p> <p>(4) 病害の発生は同程度で少ない。</p> <p>(5) 乾物収量は3か年平均で118%の多収を示す。</p>		
期待される効果	サイレージ用トウモロコシの安定生産に資する。		
普及上の注意事項			
問い合わせ先（電話番号）	畜産研究所 酪農飼料環境部（0175-64-2791）	対象地域	県下全域
発表文献等	平成26年度 東北農業試験成績・計画概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「パイオニア115日 (P1690)」の生育特性及び収量

(平成24～26年 青森畜産研)

品種・系統名	年次	初期生育	絹糸抽出期 (月/日)	刈取日 (黄熟期) (月/日)	生育日数 (日)	稈長 (cm)	着雌穂高 (cm)	倒伏 (%)	折損 (%)	病害		乾物収量		雌穂割合 (%)	TDN含有率 (%)
										すす紋病 (%)	紋枯病 (%)	総重 (kg/10a)	標準比		
P1690	H24	6.3	8/8	10/5	147	295	133	0.0	1.3	1.0	14.1	2,254	125	59.7	71.5
	H25	7.0	8/3	9/24	138	274	110	38.5	0.0	1.0	10.3	1,959	118	61.1	71.9
	H26	7.3	7/31	9/22	137	267	125	1.3	0.0	2.0	12.8	2,134	112	50.9	69.2
	平均	6.9	8/4	9/27	140	279	123	13.3	0.4	1.3	12.4	2,116	118	57.2	70.9
34B39 (標準品種)	H24	7.0	8/8	10/3	145	262	126	0.0	1.3	1.0	7.7	1,809	100	63.2	72.4
	H25	7.7	8/3	9/24	137	270	128	85.3	1.3	1.0	18.3	1,654	100	60.2	71.7
	H26	6.3	8/1	9/22	136	273	126	32.1	0.0	2.0	11.5	1,898	100	50.1	69.0
	平均	7.0	8/4	9/27	140	268	127	39.1	0.9	1.3	12.5	1,787	100	57.6	71.0

- (注) 1 初期生育は9 (極良) ~ 1 (極不良) とする評点法による。
 2 すす紋病は被害程度と被害面積に応じて1 (無) ~ 9 (甚) とする評点法による。
 3 紋枯病は罹病個体の全個体に対する割合。
 4 TDN推定式: $56.0 + 0.26 \times \text{雌穂割合}$ 。
 5 H25: 9/16の台風による多量の降雨及び強風の影響で倒伏。
 6 H26: 7/27の強風による影響で倒伏。倒伏による受精障害により雌穂乾物収量低め。

耕種条件

項目	内 容
試験圃場	畜産研究所内圃場 (平成26年で連作7年目の圃場)
播種期	平成24年5月11日、平成25年5月9日、5月10日 (標準品種)、平成26年5月8日、5月9日 (標準品種)
栽植密度	6,061本/10a (畝間75cm、株間19cm)
施肥量	N-P ₂ O ₅ =10-10kg/10a、牛糞堆肥4,000kg/10a
除草法	播種後に土壌処理剤、トウモロコシの2~4葉期に茎葉処理剤を散布